



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

令和9年度入学 支援を必要とする子どもの就学

様々な学びの場

川崎市教育委員会

川崎市総合教育センター



Ⅰ 通常の学級



通常の学級の環境

- 住所で指定されている学区の小学校に就学します。
- 小学校学習指導要領に沿った教育が行われます。
- 35人までで1学級が編制され、担任は1名です。



通常の学級における支援

- 担任による支援（座席の配慮、個別の言葉かけ等）が基本となります。
- 各学校に、相談窓口の支援教育コーディネーターがいます。お子さんに必要な支援や、学校で可能な支援について相談しましょう。



小学校の時間割(例)

	月	火	水	木	金
8:30登校	朝の会				
1	国語	算数	国語	算数	国語
2	算数	国語	算数	国語	体育
	中休み				
3	国語	生活	図工	算数	生活
4	音楽	体育	図工	体育	生活
	給食 / 清掃 / 昼休み				
5	体育	学活	音楽	国語	道徳
14:20下校	帰りの会				



2 通級指導教室



通級指導教室の目的、対象

- 障害（難聴、言語障害、情緒障害、自閉症、LD、ADHD）などに基づく学習上または生活上の困難の改善・克服を目指しています。
- 対象は、通常の学級に在籍して、一部特別な支援や指導を必要とする子どもです。
- 単なる教科学習の遅れを補う指導は行いません。



通級指導教室の指導内容

難聴	言語	情緒関連
<ul style="list-style-type: none">きこえの仕組み補聴器の管理・活用読む、書く、聞く、話す力人とのかかわり方や場面に応じた手段 など	<ul style="list-style-type: none">正しい発音の仕方つまったり繰り返したりしやすい子の楽な話し方その子に合った読み書きの方法や表現の仕方話を正しく聞き取る力 など	<ul style="list-style-type: none">場に応じたコミュニケーションのとり方気持ちを切り替える力課題への集中の仕方感情や行動のコントロールの仕方困難さに応じた効果的な学習の仕方 など



通級指導教室の指導方式

- 2つの指導方式があります。どちらの方式で指導するかは、個別の指導計画に基づき、通級指導教室が決めます。

① 設置校方式：設置校・エリア拠点校に通って指導を受けます。

※エリア拠点校 定期的に通級担当者が来校し、拠点校及び近隣の学校の子どもを指導します。

※保護者等による送迎が必要です。

② 巡回方式：通級担当者が在籍校を訪れて在籍校で指導を受けます。



通級指導教室の指導形態

- 定期的な個別指導を原則としますが、小集団の指導を行う場合もあります。
- 指導回数は、週1回1時間程度です。



通級指導教室設置校・エリア拠点校

	難聴	言語	情緒関連	エリア拠点校 (言語・情緒関連)
川崎区	聾学校	川崎小学校		
幸区		御幸小学校		南加瀬小学校
中原区		東住吉小学校		
高津区		久本小学校		
宮前区		宮前平小学校	富士見台小学校	白幡台小学校 南野川小学校
多摩区		三田小学校	東生田小学校	西菅小学校
麻生区		はるひ野小学校		王禅寺中央小学校

通級指導教室を利用する場合の時間割(例)

	月	火	水	木	金
8:30登校	朝の会				
1	国語	算数	国語	算数	国語
2	算数	国語	算数	国語	体育
	中休み				
3	送迎 通級指導	生活	図工	算数	生活
4	送迎	体育	図工	体育	生活
	給食 / 清掃 / 昼休み				
5	体育	学活	音楽	国語	道徳
14:30下校	帰りの会				



3 特別支援学級



特別支援学級の目的、対象

- 障害の状態や必要な支援によって学級が編制されています。
- 市内の市立小学校すべてに設置されています。

知的障害	知的発達の遅れがある子ども
肢体不自由	肢体不自由がある子ども
病弱・身体虚弱	病気で特別な配慮が必要な子ども
弱視	視覚に障害がある子ども
難聴	聴覚に障害がある子ども
自閉症・情緒障害	自閉症や情緒障害などにより、行動面やコミュニケーション面などで支援が必要な子ども



特別支援学級の指導形態・指導内容

- 学級種別ごとに8名までで1学級が設置され、担任は1学級1名です。
- 学習面、生活面、行動面、コミュニケーション面など幅広く指導します。各教科等の学習と合わせて、自立活動（学習や生活上の困難を改善・克服するための活動）の学習を行います。
- 子どもの状況や学校の状況に合わせて、小集団や集団の学習、交流及び共同学習（通常の学級での学習）を組み合わせます。



特別支援学級の時間割(例)

★印は交流の時間

知的障害特別支援学級の例

	月	火	水	木	金
	朝の会				
1	国語	算数	国語	算数	国語
2	算数	国語	算数	国語	★体育
	中休み				
3	国語	生活 単元 学習	★図工	算数	★生活
4	★音楽		★図工	★体育	★生活
	給食 / 清掃 / 昼休み				
5	★体育	学活	★音楽	自立 活動	道徳
	帰りの会				

自閉症・情緒障害特別支援学級の例

	月	火	水	木	金
	朝の会				
1	国語	算数	国語	算数	国語
2	算数	国語	算数	国語	★体育
	中休み				
3	自立 活動	★生活	★図工	算数	★生活
4	★音楽	★体育	★図工	★体育	★生活
	給食 / 清掃 / 昼休み				
5	★体育	★学活	★音楽	国語	道徳
	帰りの会				



4 特別支援学校小学部



特別支援学校の目的・対象

- 障害の程度が重度の子どもを対象に、特別支援学校が設置されています。
- 知的障害教育部門、肢体不自由教育部門、聴覚障害教育部門、視覚障害教育部門、病弱教育部門の特別支援学校があります。



特別支援学校の指導形態・指導内容

- 特別支援学校の学習指導要領に基づいて、教育課程が編成されます。
- 障害の状態によって6名または3名までで1学級が編成され、担任は1学級1名が基本です。
- 知的障害教育部門、肢体不自由教育部門の特別支援学校では、多くの場合、「自立活動」「各教科等」のほか「日常生活の指導」「生活単元学習」などを取り入れた教育課程を編成しています。



特別支援学校(知的障害教育部門)の時間割(例)

	月	火	水	木	金
9:10 登校	日常生活の指導／体づくり／朝の会				
	課題別学習(国語・算数等)／自立活動				
	生活	体育	図工	生活	音楽
	給食／日常生活の指導				
	昼休み				
	生活／音楽／図工／体育				
	14:10 下校	日常生活の指導／帰りの会			



特別支援学校の通学地域

- 知的障害教育部門、肢体不自由教育部門設置の特別支援学校では、教育部門ごとにそれぞれの通学地域を定め、スクールバスを運行しています。運行している地域と経路は、ある程度決まっています。

スクールバスの利用の可否等については、就学先決定後、学校と相談します。



川崎市の子どもの通学対象校

教育部門	学校名	場所
知的障害	県立鶴見支援学校	横浜市鶴見区
	県立高津支援学校	高津区
知的障害・ 肢体不自由 併設	市立田島支援学校 桜校 ※	川崎区
	市立田島支援学校 さくら分教室	川崎区
	市立中央支援学校 大戸分教室	中原区
	市立中央支援学校 稲田分教室	多摩区
	県立麻生支援学校 ※	麻生区
肢体不自由	県立中原支援学校 ※	中原区
聴覚障害	市立聾学校	中原区
視覚障害	県立平塚盲学校	平塚市大原
	横浜市立盲特別支援学校	横浜市神奈川区

※印の学校では、訪問による教育が行われています。



5 医療のサポート



(1) 入院して治療をしている方への支援

入院などにより通学が困難な子どものため、院内学級や訪問による教育があります。

(2) 医療的ケアが必要な方への支援

市立学校では、医療的ケアが必要な子どもの状況に応じて看護師が配置されたり、訪問したりしてケアを実施しています。

個々の状況については、就学相談の際にお話してください。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市